第１３章　正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

資料編

・資料索引

資料番号	資料名	ページ番号	関連資料
13－1－1	函館工業高等専門学校中期目標・中期計画(平成21年度～平成25年度)	13-1	総務課資料
13－1－2	函館工業高等専門学校地域共同テクノセンター規程	13-2	函館工業高等専門学校 規程集
13－1－3	平成24年度 第１回地域共同テクノセンター運営委員会議事要旨	13-3	地域共同テクノセンター運営委員会議事録
13－1－4	公開講座 ウェブサイト	13-4	函館高専ウェブサイト
13－1－5	平成24年度 公開講座一覧	13-5	総務課資料
13－1－6	平成24年度 出前講座一覧	13-6	総務課資料
13－1－7	出前講座 ウェブサイト	13-8	函館高専ウェブサイト
13－1－8	放射能関連に関するパンフレット	13-9	総務課資料
13－1－9	出前理科実験 実施状況	13-10	学生課資料
13－1－10	平成24年度 地域イベント支援一覧	13-11	総務課資料
13－1－11	函館文化・スポーツ財団「メカニズムフェスティバル」パンフレットより抜粋	13-12	総務課資料
13－1－12	平成24年度 ものづくり成果の体験・展示会	13-13	総務課資料
13－1－13	「科学演劇を取り入れた わかる科学講座」案内	13-14	総務課資料
13－1－14	図書館 ウェブサイト	13-15	函館高専ウェブサイト
13－1－15	2012年 秋の図書館フェアについて	13-16	図書館資料
13－1－16	函館工業高等専門学校学則	13-17	函館工業高等専門学校 規程集
13－2－1	平成20～24年度 公開講座の講座数と参加者数	13-18	総務課資料
13－2－2	平成23年度 校長裁量経費(公開講座推進費分)配分一覧	13-19	総務課資料
13－2－3	平成24年度 公開講座アンケート	13-20	総務課資料
13－2－4	平成24年度 公開講座アンケート集計結果	13-21	総務課資料
13－2－5	平成23年度 ものづくり成果・展示アンケート分析	13-22	学生課資料
13－2－6	はこだてコンクリート塾の受講者数,技術士第二次試験チャレンジセミナーの受講者数・合格者数	13-30	総務課資料
13－2－7	平成20～24年度 出前講座(出前講座)・地域イベントの活動実施数・参加者数	13-31	総務課資料
13－2－8	図書館一般開放の利用状況	13-32	図書館資料
13－2－9	校内施設(体育館を含む)利用状況	13-33	総務課資料

資料１３－１－１

函館工業高等専門学校中期目標・中期計画(平成２１年度～平成２５年度)　(抜粋)

2．研究に関する目標	2．研究に関する事項
教育内容を技術の進歩に即応させるとともに教員自らの創造性を高めるため，研究活動を活性化させる方策を講じる． 国立高等専門学校の持つ知的資源を活用して，地域を中心とする産業界や地方公共団体との共同研究・受託研究への積極的な取り組みを促進するとともに，その成果の知的財産化に努め，同時に研究の質の向上を目指す．	①研究成果の外部への公表の機会をさらに増加させる． ②学校間の共同研究を企画するとともに，研究成果等についての情報交換を活発にする． ③研究成果を教育にフィードバックするための方策を検討する． ④学術研究のみならず教育改善に関する実践も重視し，外部公表を推進する． ⑤地域共同テクノセンター等にて，全学的組織による管理運営を行い，地域企業に対する技術的指導の場としての充実を図る． ⑥研究費の競争的配分を継続する． ⑦産業界や地方公共団体との共同研究，受託研究，また学校間の共同研究への取り組みを促進する体制を整備する． ⑧発明届出件数，教員が発明者になった特許出願件数，特許取得件数のいずれも増加するように，研究成果の知的財産化などの体制を整備する． ⑨研究の基本軸となる科学研究費補助金申請件数の増加と，研究の質の向上に向けた取り組みを全学的に推進する． ⑩研究と教育に関わる様々な分野の外部資金獲得に向け全学的体制を整備する．
3．社会との連携，国際交流に関する目標	3．社会との連携，国際交流に関する事項
(1) 社会との連携 学内外において施設・人材資源を有効に活用するために，学内の体制を強化すると共に，地域内高等教育機関との連携を進める．また，地域貢献を推進するため，生涯学習体制を整備する，とともに，広報体制を充実させる．	(1) 社会との連携 ①地域社会と連携するために地域共同テクノセンター等の全学的な組織や機能の充実を計画的に推進する． ②地域の生涯学習機関として公開講座の充実を推進する．また，地域の小学校，中学校における理科教育の支援に向けた総合学習への支援，出前授業などの活動を推進する． ③地域内の高等教育機関，産業界，行政機関との連携による研究交流を推進する．また，連携による理工系教育活動および文化活動を基にした人材育成および生涯学習体制の整備を推進する． ④他高専との教育改善や地域連携活動に関する合同の研修会や事例発表会を実施し，人的交流を深める．また，共同研究，テクノセンター相互の協力体制を推進する． ⑤教員の研究分野や共同研究・受託研究の成果などの情報を印刷物，ホームページ(HP)などの媒体を用いて，中学校，企業，またはその他の一般市民など対象を明確にして，本校の情報をより分かり易く伝える． ⑥公開講座や本校でのイベントなどを新聞社等に積極的にPRし，記事としての掲載を働きかける． ⑦学外への情報の発信および学外からの評価を受けるため，地域連携協力会との協力体制をさらに推し進める．
(2) 国際交流 国立高等専門学校の国際化を推進し，グローバル化に対応するため，本校教育の国際化を目指した計画を立案する．教員や学生の国際交流への積極的な取り組みを促すための枠組みを作る．	(2) 国際交流 ①国際化社会に対応した学生の育成のため，英語によるプレゼンテーション能力の向上を図る． ②受入れた留学生に対しては，研修旅行などを通じて，我が国の歴史・文化・社会に触れる機会を持つように促す． ③留学生の相互の交流，留学生と地域社会との交流の機会を拡大する． ④学生や教員の海外交流を促進するため，協定締結校等の海外の教育機関，及びJICAなどの諸機関と連携して国際交流を推進する．

(出典 総務課資料)

資料１３－１－２

函館工業高等専門学校地域共同テクノセンター規程（抜粋）

平成 16 年 4 月 1 日

函高専達第 47 号

(部門)

第 5 条　センターに次に掲げる部門(室)を置く。

一　研究開発推進部門・・・主にセンターの運用，センターの所有する機器・装置等の保守管理，機器・装置等の導入計画立案，学内研究総括とセンター年報等の発刊を行う。

二　産学連携推進部門(技術相談室)・・・主に受託研究・共同研究のコーディネート，技術相談，産学官連携行事の企画・運営等，産学官連携等を目的とした刊行物の発刊を行う。

三　生涯学習推進部門・・・主に公開講座，社会人のリフレッシュ教育，出前講座，地域への研究等の PR 活動を行う。

（出典　函館工業高等専門学校 規程集 ）

資料１３－１－３

平成 24 年度 第１回地域共同テクノセンター運営委員会議事要旨(抜粋)

日　　時:平成２４年4月２６日（木）１６:５０～１７:４５
場　　所:共用会議室

５．平成２４年度公開講座開設について

小林委員長より資料４に基づき，平成２４年度公開講座の開設は一覧のとおり確定とし，開催日程が未確定の講座は確定済みの日程を避けて決めることとし，また，開催期間を夏休みに予定している講座が多数あることから，今年度においては受講対象者が同じ場合であっても同日開催（時間帯はずらす）を承認したい旨の提案があり，異議なく了承された。

（出典 地域共同テクノセンター運営委員会議事録）

資料１３－１－４

公開講座 ウェブサイト

（出典 函館高専ウェブサイト http://www2.hakodate－ct.ac.jp/chair/）

資料１３－１－５

平成２４年度 公開講座一覧

（出典 総務課資料）

資料１３－１－６

平成２４年度 出前講座一覧

1. 6 月 9 日(土)・10 日(日)10:00～17:00　会場:函館地域交流まちづくりセンター

対象:一般市民　人数:約 700 名 内容:第 6 回路面電車まつり(市電運転シミュレータの展示・体験)

2. 7 月 18 日(水)12:40～15:05　会場:市立函館高等学校　対象:高校 1 年生及び 2 年生

人数:640 名　内容:高専の学科等の特色について

3. 7 月 21 日(土)10:00～1200　会場:東山小学校　対象:小学生　人数:約 50 名

内容:空気砲を作って遊ぼう

4. 8 月 4 日(土)10:00～11:30　会場:日吉ヶ丘児童館　対象:小学生　人数:30 名　内容:理科実験他

5. 8 月 5 日(日)10:00～1200　会場:おおぬま子ども会(大沼小学校体育館)

対象:小学生,保護者、中学生　人数:約 60 名　内容:理科実験他

6. 8 月 19 日(日)10:00～14:00　会場:函館市総合福祉センター　対象:一般市民

人数:100 名　内容:電車のシミュレーション体験

7. 8 月 21 日(火)14:00～15:30 会場:函館市公民館　対象:くらしの講座受講生

人数:約 20 名　内容:函館人とは？アンケート集計結果を踏まえた考察

8. 8 月 25 日(土)10:00～1200　会場:北日吉小学校体育館　対象:小学３年生、５年生

人数:約 100 名　内容:エネラボ体験展示・ぶんぶんゴマ

9. 8 月 26 日(日)10:00～13:30 会場:高丘小学校　対象:小学生、保護者

人数:約 200 名　内容:スライム作りと実験

10. 8 月 29 日(水)13:10～14:20　会場:東山小学校　対象:小学 5 年生　人数:約 35 名

内容:科学実験(人工イクラ他)

11. 8 月 31 日(金)13:30～15:30　会場:桔梗小学校　対象:小学 5 年生　人数:92 名

内容:エネラボ、折り紙ヒコーキ教室

12. 9 月 3 日(月)15:00～16:30

会場:本通小学校(放課後子ども教室:函館市教育委員会連携事業) 対象:小学生

人数:60 名　内容:エネルギーラボ体験

13. 9 月 5 日(水)13:30～15:45　会場:教育大学附属小学校　対象:小学 5 年生

人数:約 105 名　内容:エネラボ体験

14. 9 月 16（日）9:00～10:20 会場:ふるる函館（函館青年会議所連携事業）

対象:小学 5～6 年生　人数:40 名 内容:炭電池とレモン電池について原理説明と実験体験

15. 9 月 19 日(水)15:00～16:30　会場:柏の小学校(放課後子ども教室:函館市教育委員会連携事業)　対象:小学生

人数:80 名　内容:ふうせんを用いた実験等

16. 9 月 20 日(木)10:00～11:30　会場:函館市公民館　対象:高齢者大学学生

人数:約 300 名　内容:知内町の涌元古銭と函館市の志海苔古銭

17. 9 月 22 日(土)10:30～1200 会場:七飯町文化センター(七飯町教育委員会連携協定事業)　対象:小学生および保護者

人数:75 名　内容:たいようのちからを知ろう！～不思議なビーズでアクセサリー作り～

18. 9 月 23 日(日)10:00～1200 会場:中の沢小学校　対象:小学 5 年生　人数:56 名　内容:エネラボ体験

19. 10 月 28 日(日)10:30～1200 会場:知内中央公民館　対象:小学 5～6 年生

人数:約 20 名　内容:おもしろ実験室パートⅡ

20. 11 月 25 日(日)9:30～11:30 会場:森町公民館（森町教育水準向上対策協議会）

対象:小学 3～6 年生 人数:55 名　内容:ふれあい体験教室

21. 12 月 8 日(土)10:00～1200　会場:北美原小学校　対象:小学生　人数:150 名　内容:サイエンス祭

22. 12 月 15 日(土)10:00～11:30　会場:亀田福祉センター　対象:小学生　人数:80 名　内容:エネラボ体験展示

23. 12 月 15 日(土)13:00～15:00 会場:高丘小学校（函館高専）

対象:小学 5 年生　人数:約 60 名　内容:レーザー加工機でキーホルダー作り

24. 12 月 20 日(木)13:30～15:00 会場:駒場小学校　対象:小学３年生　人数:約４０名

内容:ブンブンゴマによるＬＥＤ発電実験

25.　1 月 19 日(土)10:00～12:00　会場:七飯町文化センター（七飯町教育委員会連携協定事業）　対象:小学生

人数:20 名　内容:親子で参加『みんなで作ろう巨大空気砲』

26.　1 月 20 日(日)10:00～13:30 会場：森町公民館（森町教育委員会連携協定事業）　対象:小学生

人数:500 名　内容:もりっこまつり

27. 2 月 20 日(水) 13:00～16:00　会場:北海道高等学校理科研究会函館支部物理部会

内容:物理基礎と中学校理科との指導のあり方等について

28. 3 月 30 日(土)10:00～12:00　会場:七飯町文化センター（七飯町教育委員会連携協定事業）　対象:小学生

内容:親子で参加・科学の力でアイスクリームをつくるぞ！

（出典 総務課資料）

資料１３－１－７

出前講座 ウェブサイト

（出典 函館高専ウェブサイト http://www2.hakodate－ct.ac.jp/technologycenter/kouza/）

資料１３－１－８

放射能関連に関するパンフレット

教育機関向けパンフレット（２つ折り）

企業等向けパンフレット（３つ折り）

（出典 総務課資料）

資料１３－１－９

出前理科実験 実施状況

平成２２年度

○環境都市工学科

・タイトル：「地震による液状化現象の実験」
・実施中学校・学年・クラス数： 函館市立湯川中学校・第２学年・３クラス
・実施日[時間]：11 月 15 日(月)[50 分]、11 月 22 日(月)[45 分]、
11 月 29 日(月)[45 分]
・実施スタッフ ：川口准教授、小玉助教、片岡助教、岩渕技術教育支援センター員

○物質工学科

・タイトル：「化学反応の前後の質量変化の実験」
・実施中学校・学年・クラス数：函館市立凌雲中学校・第２学年・２クラス
・実施日[時間]：3 月 4 日(月)[50 分]、3 月 4 日(月)[50 分]
・実施スタッフ ：小林教授

平成２４年度

○機械工学科

・タイトル：「流体力学　～飛行機はなぜ飛ぶことができるのか？～」
・実施中学校・学年・クラス数：知内中学校・第３学年・３５名
・実施日[時間]：11 月 29 日(木) [110 分]
・実施スタッフ：本村准教授、阿部技術教育支援センター員

（出典 学生課資料）

資料１３－１－１０

平成２４年度 地域イベント支援一覧

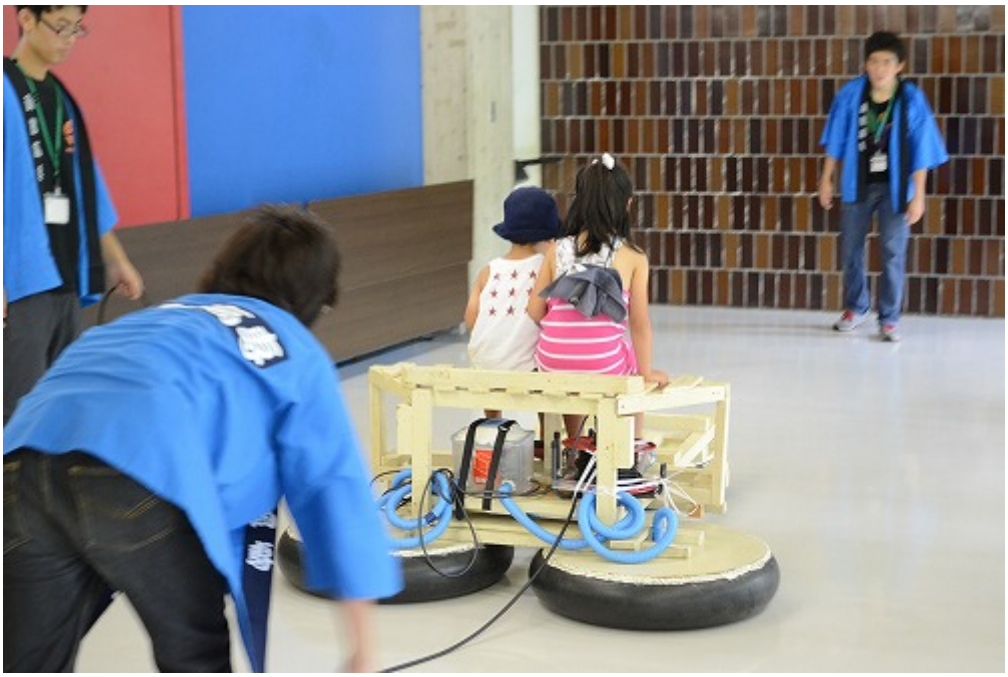
日付	曜日		区分	事業名
2012/4/21	土	13:00～17:00	イベント	函館高専モノづくり成果と科学の体験展示会
2012/4/22	日	10:00～15:00	イベント	函館高専モノづくり成果と科学の体験展示会
2012/5/5	土(祝)	10:00～15:00	イベント	SSHはこだて赤テント
2012/5/19	土	13:00～16:00	イベント	WAKOビル赤テント第1回
2012/7/6	金	18:30～20:00	イベント	JST活動支援No1講演会
2012/7/8	日	13:00～16:00	イベント	湯川千勝祭
2012/7/21	土	13:00～16:00	イベント	WAKOビル赤テント第2回
2012/8/18	土		イベント	はこだて国際科学祭
2012/8/19	日		イベント	はこだて国際科学祭
2012/8/21	火		イベント	SSHサイエンスカフェ
2012/8/26	日	10:00～15:00	イベント	ざいだんフェスティバル
2012/8/26	日	13:00～14:00	イベント	Qooちゃんたいそう
2012/9/17	月(祝)	11:00～17:00	イベント	屋外キッズスタジアム第3回
2012/11/17	土	13:00～16:00	イベント	WAKOビル赤テント第4回
2012/10/28	日	10:00～12:00	イベント	知内町民文化祭
2013/1/20	日	10:00～14:00	イベント	北斗市学習体験フェス
2013/1/19	土		イベント	WAKOビル赤テント第5回
2013/1/20	日		イベント	もりっこまつり

（出典 総務課資料）

資料１３－１－１１

函館文化・スポーツ財団「メカニズムフェスティバル」パンフレットより抜粋

平成 24 年 8 月 26 日（日）　函館市市民会館



実施テーマ

①レゴブロックによるライントレースカーコンテスト

②ペーパークラフト

③ホバークラフト体験

④自転車発電（エネラボ）

⑤ＵＦＯキャッチャー

⑤ロボット研究会の学生が作成したミニロボット操作体験

（出典 総務課資料）

資料１３－１－１２

平成２４年度 ものづくり成果の体験・展示会パンフレット

ものづくり成果の体験・展示会

日時　平成25年3月9日（土）　13時～15時30分

会場　函館高専 第一体育館（函館市戸倉町14-1）
（入場無料・申込み不要）

問合せ　函館工業高等専門学校
☎0138-59-6333　http://www.hakodate-ct.ac.jp

主催：函館工業高等専門学校　後援：函館高専地域連携協力会

（出典 総務課資料）

資料１３－１－１３

「科学演劇を取り入れた　わかる科学講座」案内

平成24年度(独)科学技術振興機構(JST)科学技術コミュニケーション推進事業　活動実施支援事業

参加者募集中!

『エネルギー・ラボ』

参加無料

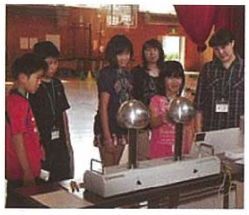
『エネルギー・ラボ』は、実験や観察で電気や発電、エネルギーなどについて楽しみながら学ぶ体験型の学習プログラムです。
エネルギーの大切さについて、みんなで一緒に考えましょう!!

◆日時　平成25年1月12日(土) 13:00～15:00

◆会場　神山児童館

- 対象　小学生
- 定員　50名

科学演劇もお楽しみに！



□ 申込み締切　平成25年1月10日(木)

※児童館へ直接お申込みください。(先着順に受け付け、定員になりしだい締め切らせていただきますので、ご了承ください。)

主催：函館工業高等専門学校 (戸倉町14-1 Tel. 59-6316)　協力：神山児童館(神山町241-70 Tel. 56-1116)

(出典 総務課資料)

資料１３－１－１４

図書館ウェブサイト

(出典 函館高専ウェブサイト http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-gakujo/tosyo/libra_j.htm)

資料１３－１－１５

２０１２年 秋の図書館フェアについて（学外者も参加可能なイベント）

読書や図書館利用を促進するため，図書館主催による各種イベントを実施した。

＜期間＞10 月 9 日（火）～11 月 9 日（金）

1. 朗読会

日時:10 月 13 日（土）15:00～16:00　/　場所:図書館閲覧室

・学生や教職員から数名有志を募り，自ら選んだ本の中から，10 分程度朗読を行う

・全体で 1 時間程度　・ジャンルは問わない　・どなたでも参加可能

2. 企画展示コーナーの設置

日時:フェア期間中　/　場所:図書館閲覧室

・　“いろんな秋の楽しみ”をテーマに関連した資料の展示

3. ビブリオバトル

日時:10 月 13 日（土）11:00－11:30　/　場所:図書館閲覧室

・面白いと思った本を持ち寄り，本の紹介をして，一番読みたくなった本“チャンプ本”を決定する。

・どなたでも参加可能

4. オリジナル栞をつくろう！

日時:10 月 13 日（土）　場所:図書館閲覧室

・ペンや千代紙をつかって，栞づくりを体験してもらう

・最後にラミネート加工をした栞をお土産に持ち帰ってもらう

・完成の目安は 15 分位

5. 本のリユースコーナー

日時:フェア期間中　/　場所:図書館ロビー

・除籍図書や雑誌を中心に，来館者へ無料で配付する

・本は 1 人何冊でも受領可。ただし，古書店やネットオークション等への転売は不可

（出典 図書館資料）

資料１３－１－１６

函館工業高等専門学校学則　（抜粋）

昭和 37 年 4 月 1 日制定

第 10 章　研究生，聴講生，特別聴講学生，科目等履修生及び外国人留学生

(研究生)

第 54 条　本校において，特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは，本校の教育研究に支障のない場合に限り，選考のうえ，研究生として校長が入学を許可することがある。

2　研究生について，必要な事項は，別に定める。

(聴講生)

第 55 条　本校において，特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは，本校の教育に支障のない場合に限り，選考のうえ聴講生として校長が入学を許可することがある。

2　聴講生について，必要な事項は別に定める。

(特別聴講学生)

第 55 条の 2　本校において，他の高等専門学校，短期大学(外国の短期大学を含む。)並びに大学(外国の大学を含む。)の学生が，単位互換協定等に基づき，本校が開設する特定の授業科目を履修しようとする者があるときは，本校の教育に支障のない場合に限り，選考のうえ特別聴講学生として校長が入学を許可することがある。

2　校長は，授業科目を履修した者に対し，単位の修得を認定することができる。

3　特別聴講学生について，必要な事項は別に定める。

(科目等履修生)

第 56 条　本校において，1 科目又は複数科目の授業科目を履修することを志願する者があるときは，本校の教育研究に支障のない場合に限り，選考のうえ，科目等履修生として校長が入学を許可することがある。

2　校長は，授業科目を履修した者に対し，単位の修得を認定することができる。

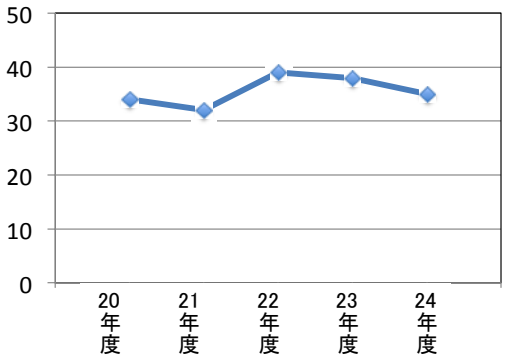
3　科目等履修生について，必要な事項は別に定める。

（出典　函館工業高等専門学校 規程集）

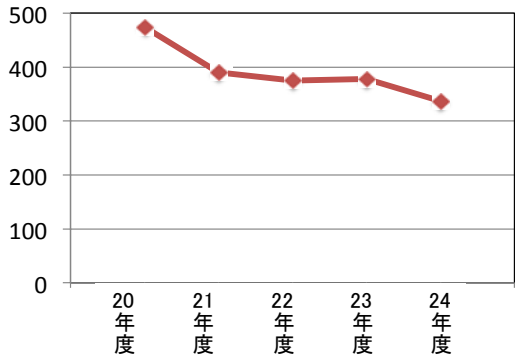
資料１３－２－1

平成２０～２４年度 公開講座の講座数と参加者数

講座数



参加者数



（出典 総務課資料）

資料１３－２－２

平成２４年度校長裁量経費(公開講座推進費分)配分一覧(抜粋)

種目等	学科等	職　名	氏　　名	申請額(千円)	配分額(千円)
公開講座推進	機械工学科	教授	[redacted]		20
		教授			40
		准教授			20
		准教授			60
		准教授			70
		助教			10
		小　　計			**220**
	電気電子工学科	教授	[redacted]		20
		教授			20
		准教授			120
		小　　計			**160**
	情報工学科	准教授	[redacted]		20
		助教			20
		小　　計			**40**
	物質工学科	教授	[redacted]		120
		助手			10
		小　　計			**130**
	環境都市工学科	教授	[redacted]		45
		教授			5
		教授			15
		教授			5
		小　　計			**70**
	一般科目人文系	教授	[redacted]		8
		准教授			40
		准教授			20
		准教授			26
		准教授			26
		小　　計			**120**
	技術教育支援センター	センター長	[redacted]		20
		小　　計			**20**
	公開講座推進合計				**760**

(出典 総務課資料)

資料１３－２－３

平成２４年度 公開講座アンケート

【アンケート】　　**平成２４年　月　　日**

平成２４年度　函館工業高等専門学校 公開講座

「　　講座名　　」

（○をつけてお答えください）

1. この「公開講座」があることをどのようにして知りましたか?

1）ポスター		2）先生、友達、家族	
3）まなびっと等の広報誌		4）インターネット	
5）新聞、ラジオ、テレビ		その他（　　）	

2. この公開講座に参加して満足しましたか?

1）とても満足した		2）満足した	
3）不満である		4）とても不満だ	

3. 先生の教え方はどうでしたか？

1）とても親切・ていねいであった		2）親切・ていねいであった	
3）親切・ていねいではなかった		4）全く親切・ていねいではなかった	

4. 先生の人数はどうでしたか？

1）ちょうどよい		2）多すぎた	
3）少なかった		2）3）と答えた方：希望人数は（　　）人くらい	

5. 受講料はどうでしたか？

1）高いと思う		2）ちょうどよい		3）安いと思う	
4）無料がよい		1）3）と答えた方（　　)円くらいがよいと思う			

6. 始まる時間はどうでしたか？

1）ちょうどよい		2）いつでもよい	
3）もっと早い/遅いほうがよい		希望時間　（　　時頃)	

7. これまでに**【函館高専の公開講座】**に参加したことがありますか？

1）ある		2）ない	
1）を選んだ方は、参加された**函館高専の公開講座**を教えてください （　　）			

8. （各講座特有の質問があればここでお願いいたします。 なければ削除願います）

※他に受講したい、開講してほしい講座があればご記入願います。また、感想・ご意見がございましたらぜひお聞かせください。 本日はお疲れ様でした。

（出典 総務課資料）

資料１３－２－４

平成２４年度 公開講座アンケート集計結果

総講座数	35 講座		有料	22 講座	206 人	一般	6 講座	70 人
総受講者数	337 人		無料	13 講座	131 人	小中学生	29 講座	267 人

1.この「公開講座」があることをどのようにして知りましたか？						
1）ポスター	41	12.2%	2）先生、友達、家族	60	17.8%	複数回答可
3）函館の広報誌	172	50.9%	4）インターネット	12	3.6%	（100%を超えます）
5）新聞、ラジオ、テレビ	12	3.6%	6）その他	18	5.3%	

2.この公開講座を受けて満足しましたか？					
1）とても満足した	258	76.6%	2）だいたい満足した	55	16.3%
3）不満	2	0.6%	4）とても不満	1	0.3%

3.講師の教え方は親切･丁寧でしたか？					
1）とても親切･丁寧だった	281	83.4%	2）親切･丁寧であった	32	9.5%
3）親切･丁寧ではなかった	0	0.0%	4）全く親切･丁寧ではなかった	1	0.3%

4.講師の人数は十分でしたか？					
1）十分だった	320	95.0%	2）多すぎた	3	0.9%
3）少なかった	14	4.2%			

5.受講料は適切でしたか（有料講習向け質問）					
1）高いと思う	5	2.4%	2）ちょうど良い	151	73.3%
3）安いと思う	28	13.6%	4）無料が適切だ	9	4.4%

5.　有料でも受講したいと思いますか？（無料講習向け質問）					
1）ぜひ受講したい	39	29.8%	2）無料が適切だ	64	48.9%
3）金額によっては受講したい				8	6.1%

6.開講時間は適切でしたか？					
1）適切だった	250	74.2%	2）何時でもよい	76	22.6%
3）もっと早い/遅い方が良い				12	3.6%

7.これまでに函館高専の他の講座を受けたことがありますか?					
1）ある	120	35.6%	2）ない	217	64.4%

開講時期	件数	%		開講時期	件数	%
6月	2	5.0		10月	3	8.0
7月	6	15.0		11月	5	13.0
8月	7	18.0		12月	3	8.0
9月	2	5.0		1月	5	13.0

※技術士，コンクリ塾除く　　合計　35

（出典 総務課資料）

資料１３－２－５

平成２３年度 ものづくり成果・展示アンケート分析

平成 23 年度

ものづくり成果の体験・展示会

来場者アンケート調査結果について

H23 年度 3 月

広報委員会

函館高専　ものづくり成果の体験・展示会　来場者アンケート

１．あなたについて、あてはまるものに○を付けてください。
　性別：男・女　　年齢：　～9才　１０代　２０代　３０代　４０代　５０代　６０代　７０代以上
　職業：小学生（　　年）　中学生（　　年）　高校生（　　年）　大学生・院生（理系・文系、　　年）
　　会社員・教員・公務員・研究員・主婦・無職・その他（　　）

２．今日の感想をお答えください。
　①とても楽しかった　②まあまあ楽しかった　③普通　④あまり楽しくなかった
　⑤全然楽しくなかった

３．今日の内容はどうでしたか
　①とてもわかりやすかった　②まあまあわかりやすかった　③普通　④すこし難しかった ⑤とても難しかった

４．また参加したいと思いますか。
　①積極的に参加したい　②機会があれば参加したい　③どちらともいえない　④あまり参加したくない　⑤もう参加したくない

5．今まで、自然や科学・技術・ものづくりに興味がありましたか。
　①とても興味があった　②まあまあ興味があった　③どちらともいえない　④あまり興味はなかった　⑤全然興味はなかった

6．今日参加して、自然や科学・技術・ものづくりへの興味が高まりましたか。
　①更に興味を持った　②少し興味を持った　③変わらない　④少し興味が薄れた　⑤興味がなくなった

7．今日の活動(展示会)をどこで知りましたか(複数選択可)。
　①新聞記事　②新聞折り込みちらし　③ポスター　④学校(先生・ポスター)　⑤知人の紹介　⑥高専からの案内文書
　⑦その他　（　　）

8．函館高専で、本日展示されていたような教育を行っていることを知っていましたか。
　①よく知っていた ②知っていた　③あまり知らなかった　④まったく知らなかった

9．高専の学生や教職員など、本日のスタッフのようすについての感想をお聞かせください。
　①とても親切　②まあまあ、親切 ③普通　④ちょっと、不親切　⑤まったく不親切

１０．本日の展示のなかで、興味をもった展示の No を教えてください。（複数可です）

　興味を持った展示ブースのＮｏ．＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１１．その他、ご意見、ご感想をお聞かせください。高専に期待すること、もっとこんな研究をしてほしいという

ご要望、なんでも結構ですので、是非、ひとことお願いします。

★★★アンケートへのご協力、ありがとうございました。　函館工業高等専門学校★★★

1. 来場者について　（アンケート回収は 117）

	～9才	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	不明	合計
男	5	27	0	2	10	3	4	0	0	**51**
女	4	16	0	6	25	3	0	1	1	**56**
不明	1	7	0	0	1	0	1	0	0	**10**
合計	**10**	**50**	**0**	**8**	**36**	**6**	**5**	**1**	**1**	**117**

2. 回答者の職業について

	小学生	中学生	高校生	大学生・院生	会社員	教員	公務員	研究員	主婦	無職	その他	不明	合計
男	17	14	0	0	9	0	6	0	0	1	4	0	**51**
女	6	14	0	0	2	0	1	0	27	0	5	1	**56**
不明	4	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	**10**
合計	**27**	**32**	**0**	**0**	**12**	**0**	**7**	**0**	**27**	**2**	**9**	**1**	**117**

小中学生学年内訳

小学生

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
男	1	0	4	5	3	4

中学生

	1年	2年	3年
男	1	1	12

女	0	3	1	0	2	0
不明	0	0	0	2	1	1
合計	**1**	**3**	**5**	**7**	**6**	**5**

女	1	3	10
不明	1	0	3
合計	**3**	**4**	**25**

(分析)　合格者説明会には約 295 名の参加があり，中学生だけでも 200 名近くいるはずである．ところが，アンケートに答えてくれている中学 3 年生は 25 名しかいない．このことは，アンケートに答えずに帰ってしまうかそれほど展示を見ていないかという事が推測できる．これに関しては，休憩所がもう少し欲しいと言う意見もあったようなので次年度に反映させたい．合格者に限定して考えれば，少し改善が必要である事は確かである．行事の目的としては科学啓蒙であり，合格者だけが対象ではないのであまりそこにこだわる必要はないのかもしれない．

(提言)次年度は合格者説明会について「説明は十分だったか」「もっと聞きたい事は何か?」などを聞いてデータ化してはいかがでしょうか，

3. 今日の内容はどうでしたか?

	①	②	③	④	⑤
男	32	17	3	0	0
女	34	17	4	0	0
不明	6	4	0	0	0
合計	**72**	**38**	**7**	**0**	**0**

①とてもわかりやすかった
②まぁまぁわかりやすかった
③普通
④少し難しかった
⑤とても難しかった

4. また参加したいと思いますか

	①	②	③	④	⑤
男	19	32	0	1	0
女	18	37	0	0	0
不明	3	7	0	0	0
合計	**40**	**76**	**0**	**1**	**0**

①積極的に参加したい
②機会があれば参加したい
③どちらともいえない
④あまり参加したくない
⑤もう参加したくない

(分析)「積極的に」と「機会があれば」をあわせた『参加したい』がほぼ 100%であり，一般市民に対しての高専の成果アピールとして十分な効果がある．

5. 今までに自然や科学･技術に興味がありましたか?
全体回答

	①	②	③	④	⑤
男	24	25	2	0	0
女	22	25	5	4	0

①とても興味があった
②まぁまぁ興味があった
③どちらともいえない
④あまり興味はなかった
⑤全然興味がなかった

不明	4	4	1	1	0
合計	**50**	**54**	**8**	**5**	**0**

中学生の抽出回答

	①	②	③	④	⑤
男	7	7	0	0	0
女	11	3	0	0	0
不明	0	2	1	1	0
合計	**18**	**12**	**1**	**1**	**0**

6. 今日参加して，自然や科学･技術・ものづくりへの興味が高まりましたか?

全体回答

	①	②	③	④	⑤
男	25	23	2	0	0
女	28	24	2	0	0
不明	5	5	0	0	0
合計	**58**	**52**	**4**	**0**	**0**

①さらに興味をもった
②少し興味をもった
③変わらない
④少し興味が薄れた
⑤興味がなくなった

中学生の抽出回答

	①	②	③	④	⑤
男	10	4	0	0	0
女	8	6	0	0	0
不明	2	2	0	0	0
合計	**20**	**12**	**0**	**0**	**0**

(分析)前問で「あまり興味が無かった」生徒一名も科学に興味を持ってくれたようで，何よりである．そして，この回答を見る限り，「ものづくり成果展示」の目的は達成していると考えて良いだろう．

7. 今日の活動(展示会)をどこで知りましたか?

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
男	3	11	3	14	0	19	6
女	1	9	4	13	2	22	9
不明	2	2	0	1	0	5	0
合計	**6**	**22**	**7**	**28**	**2**	**46**	**15**

①新聞記事　②新聞折り込みチラシ　③ポスター　④学校(先生，ポスター)
⑤知人の紹介　⑥高専からの案内文書

(分析)この回答から，保護者込みで合格者説明から引き続き見学して，アンケートまで答えてくれた方は 46 名と思われる．アンケートは回収していないだけで，もっと多くの生徒や保護者が午前からの流れで見てはいるはずなので，これらの参加者の動向を知るためには，例えば，カレー引換券を受付で渡してアンケート回収時に無料券と引き替えるなど(合格カレーになる事が前提)，アンケート回収率をあげる必要がある．

8.函館高専で本日展示されていたような教育を行っている事を知っていましたか?
全体回答

	①	②	③	④
男	7	20	16	8
女	11	15	22	6
不明	1	6	3	0
合計	**19**	**41**	**41**	**14**

①よく知っていた
②知っていた
③あまり知らなかった
④全く知らなかった

中学生の抽出回答

	①	②	③	④
男	5	3	5	1
女	1	10	2	1
不明	0	3	1	0
合計	**6**	**16**	**8**	**2**

(分析)全体回答では知っていた割合と知らなかった割合はほぼ半々であったので，この行事は広報として意味があったと思われる．しかしながら，人数が少ないながら，中学生(ただし，合格者説明会参加者かどうかは不明)にも知らないと答えた生徒が 25%いた事は気になる．ただし，この割合は昨年度に比べて減少しており，広報活動の成果とも考えられる．知らなかった事は「具体的に」という意味なのか,「技術系の学校と言う事」と言う事なのかは疑問が残るが，どちらにしても合格者には是非参加して欲しい行事である．

9.高専の学生や教職員など，本日のスタッフの様子について感想をお聞かせ下さい

	①	②	③	④	⑤
男	41	9	1	0	0
女	44	9	2	0	0
不明	8	0	1	0	0
合計	**93**	**18**	**4**	**0**	**0**

①とても親切
②まぁまぁ，親切
③普通
④ちょっと不親切
⑤まったく不親切

(分析)いつもの事だが，やはり学生の協力あってのイベントであり，優秀な本校学生のおかげでこのような評価を得られ，それが中学生にとって「こういうふうになりたい」という思いにつながれば最高である．

10.本日の展示で興味を持ったブースを教えて下さい
回答がブース番号だったり学科だったりバラバラに得られたので学科ごとの総計のみ記す．
(補足)本年度は会場配置案が学科ごとのエリア配置で，どのブースがどこ，というのは学科内で相

談して決める事になっており，そのためどれが M1 か，と言うのがはっきりしていなかった．そのために中学生もどれが何というブースかはいちいち覚えていなかったために学科投票になった可能性が高い．

機械	52 人	物質	31 人	地域連携	13 人
電気電子	29 人	環境都市	31 人		
情報	28 人	専攻科（イカキャッチャ）	16 人		

11. その他自由意見　　赤：広報としてうれしい意見　　水色：改善検討意見　（分析者主観による）

・自分でＵＦＯキャッチャーを作れるのがすごいと思った。
・液状化や津波などの原理がわかった。また、魚は流れと反対方向に泳ぐということを初めて知った。

・ジグソーパズルを作ってみたいと思った。（アンパンマンなど）
・将来、人の役に立ちそうなものが多かったので、もっとそういう物を作り出し、実現し、人の役に立ててほしいと思った。　（中学１年生）
・今のままですばらしいと思います。（中学３年生）　　//　　・今のままで十分です。（中学３年生）

・とても素晴らしい学校です。（４０代会社員）
・これからも身近な問題等をわかりやすく発言してください。がんばってください。（６０代無職）

・すごく楽しかったです。また来たいです。（小学１年生・男　他）
・色々な体験があっておもしろかったです。（小学３年生・男　他）
・大きくなったら高専に来たいです。（小学４年生・男　他）
・興味がよりいっそうわきました。（中学２年生・女　他多数）
・専門用語で説明されてもよくわからない。もう少しわかりやすくしてほしい。（中学３年生・男）

・今年４月に入学するので、このようなイベントには力を入れたいと思いました。（中学３年生・男）

・先生方や学生のみなさんが親切で良い印象だった。（中学３年生・男）
・自分でもこういうものを作ってみたい。（中学３年生・男）
・高専に入学したら、さらに色々なことをやりたいと思った。（中学３年生・男）
・ブースＮｏが資料にありません。（４０代会社員・男）　　（この件は補足事情による）

・新エネルギーの研究（安全性、低コスト）など（６０代会社員・男）
・渦流実験がとても面白いと思った。
・４月から頑張ります。（中学３年生・女）
・女子生徒が多くて、やりやすかったです。（中学３年生・女）
・入学を考えているので、参考になりました。（中学３年生・女）
・新しい展示物が見たいです。見学会など以外のものの展示があったらうれしい。（中学３年生・女）

・前回も参加して子供たちがとても楽しめたので今回も来ました。やっぱり２人ともとても喜んでくれたので、次回もまた来たいです。

・飲み物のコーナーのお湯が熱くて、子供はちょっと飲めませんでした。冷水も置いてもらえるとよかったと思います。（３０代主婦）
・このような面白い活動をもっと増やしてほしいです。特にそれぞれの学科の特徴がわかるもの。（３０代・女）

・道具のある物質や機械が見ごたえがあった。（４０代主婦）
・学校祭など楽しみにしています。これからもものづくりに情熱を注いでください。（４０代主婦）

・こんなに高度な学習をしていることに驚きました。未来のために頑張ってください。（４０代介護員・女）

・作ったものの、こうなりますの説明より、苦労したところや難しいところや学生ならではの単純で良いので、むずかしい説明でなくてよいと思う。（４０代会社員・女）
・入学させたいと思った。（４０代主婦）
・学祭等で見たものと似ていましたが、今後にも期待します。（４０代主婦）
・サイエンス秋祭りのときと同じだったのですね。まったく違うと思っていたので、ちょっとがっかりでした。（４０代・女）
・七飯町の高専主導の科学教室に参加し、興味を持ったので、今日参加してみました。

子どもにもわかりやすく、興味をひくような展示が多く、とてもよかったです。（４０代主婦）

・小学生ですが、この学校に行きたいと言っています。小学生対象に学生がアルバイトをして科学のことを教えてくれるといいです。
・お金を出して買えるものも出してほしい。日本に来て一番よかったかも。ありがとう。（４０代自営業・女）

・展示ブースＮｏをもう１枚の紙に書いてあるとすぐに書き込めていいです。まわって見ている時はＮｏまでみていないので、あると助かります。　　（この件は補足事情による）
・いつも楽しい展示で、何回も子供を連れて来ています。楽しく見せてくれている裏に高専生の地道な研究があることを子供にもわかってもらいたいです。
・生徒さんの対応もいつも丁寧でわかりやすいです。ありがとうございます。（４０代主婦）

・学生さんたちが、ここでの学校生活にとても充実してるということが表情からも感じてわが息子も・・・という思いになりました。（４０代パート・女）
・東北震災が起こり、１年ですが、津波や液状化の仕組みなど模型で見せてもらい、ためになりました。（５０代主婦）
・休憩コーナーがもっと広くても良いかも。小さい子用の飲み物があっても。チョコやあめがあっても・・・食べながらは厳禁で。（５０代・女）
・地震、除雪、防災、介護のいい方法があったら、ぜひ自然災害を避けるよい機械を作ってください。（主婦）

（出典　学生課資料）

資料１３－２－６

はこだてコンクリート塾の受講者数,技術士第二次試験チャレンジセミナーの
受講者数・合格者数

技術士第二次試験チャレンジセミナー

	技術士試験合格者数	受講者数
第1回(H22)	2	12
第2回(H23)	3	8
第3回(H24)	1	6

はこだてコンクリート塾

	受講者数
第1回(H21)	13
第2回(H22)	11
第3回(H23)	5
第4回(H24)	5

（出典 総務課資料）

資料１３－２－７

平成２０～２４年度 出前講座(出前講座)・地域イベントの活動実施数・参加者数

出前講座

	実施数	参加者数*
H20年度	7	記録なし
H21年度	20	1030
H22年度	26	4946
H23年度	24	2341
H24年度	28	3668

地域イベント

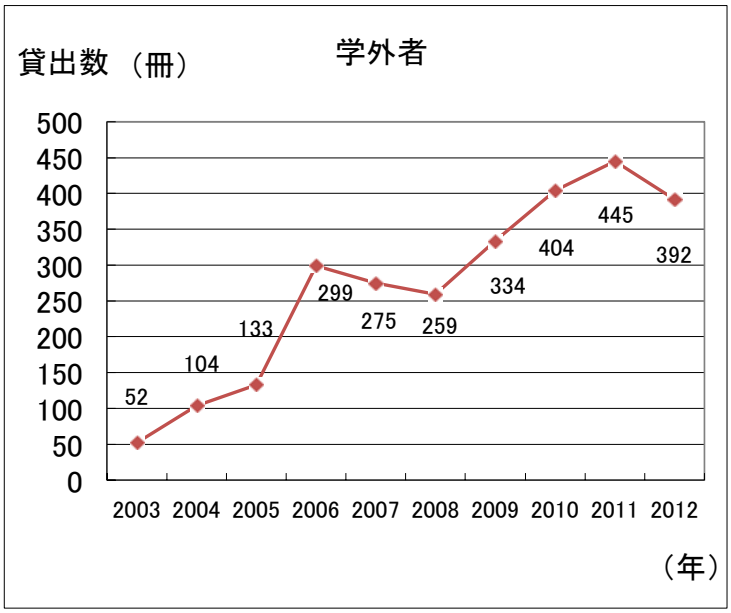
	実施数	参加者数*
H20年度	11	1942
H21年度	17	3539
H22年度	19	3555
H23年度	20	4303
H24年度	18	3353

*参加者についてはおおよその数

(出典 総務課資料)

資料１３－２－８

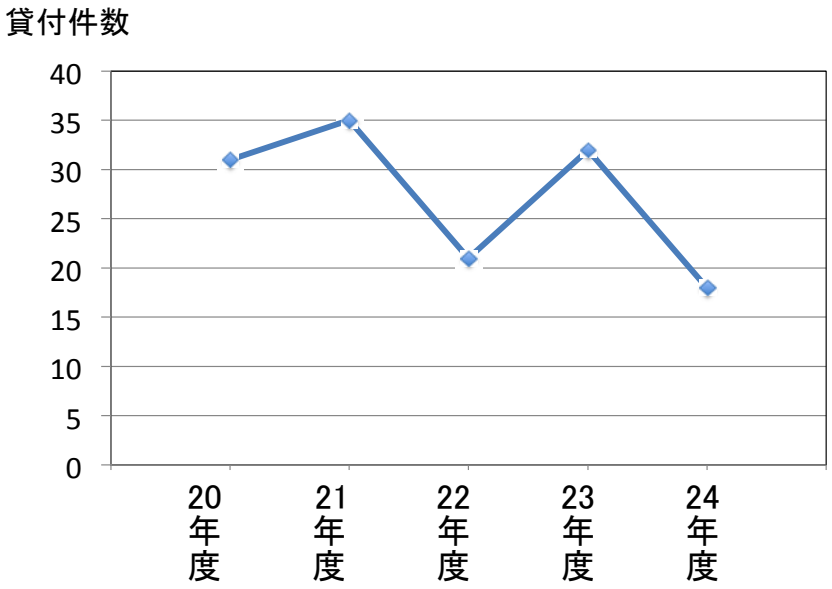
図書館一般開放の利用状況



（出典 図書館資料）

資料１３－２－９

校内施設(体育館を含む)利用状況



(出典　総務課資料)